熊本地震及び復興に向けた 地元NPO等の活動について (報告)

くまもと災害ボランティア団体ネットワーク 樋口 務(特定非営利活動法人NPOくまもと)





4月15日 地元団体への支援活動はここから始まりました



全国災害ボランティア支援団体ネットワーク準備会 (以下、「JVOAD 準備会」) について 1. JVOAD 準備会 概要 全国災害ボランティア支援団体ネットワーク準備会(略称、JVOAD 準備会) Japan Voluntary Organizations Active in Disaster 英語名称 認定 NPO 法人国際協力 NGO センター (JANIC) /認定 NPO 法人ジャパン・プラット 參加団体 フォーム/震災がつなぐ全国ネットワーク/チーム中越/東京災害ボランティアネッ トワーク/認定 NPO 法人日本 NPO センター 公益社団法人日本青年会議所 災害ボランティア活動支援プロジェクト会議/社会福祉法人全国社会福祉協議会/日 本赤十字社/東日本大震災支援全国ネットワーク (JCN) 事務局/阪神・淡路大震災記 念 人と防災未来センター 栗田 暢之 (震災がつなぐ全国ネットワーク代表/認定 NPO 法人レスキューストックヤード代表理事) 石井布紀子 (NPO法人さくらネット代表理事) 副代表

2.「JVOAD 準備会」の立ち上げ準備に至る経緯

東日本大震災の被災地で支援活動を展開した NPO 等のネットワーク組織(準備会参加団体等)は、震 災前に連携体制が構築されていなかったため、支援の全体像が把握できず、現地での活動が困難を極め た。また、これまでの政府・行政(省庁・都道府県・市町村)や企業等との連携体制の議論に関しても、 限定的であり、東日本大震災では有効に機能したとは言い難い結果となった。

近い将来起きると言われている南海トラフや首都直下等の巨大地震や各地で相次ぐ集中豪雨などに備えるため、2013年7月に NPO 等の有志が集まり、更なる連携・協働のための仕組づくりの検討が始まった。

内閣府や経団連、社会福祉協議会などとの意見交換を行いながら、2014年度には、内閣府(防災担当)において、「大規模災害時におけるボランティア活動の広域連携に関する意見交換」が行われ、JVOAD 準備会参加団体もメンバーに加わり、「提言」がまとめられた。災害時の情報共有や災害対策本部の立ち上げ訓練等への参加など徐々にではあるが官民の連携を作り出している。また、2015年関東・東北豪雨水害への対応も踏まえて、行政や経済界からも、災害時の「中間支援組織」への期待は高まっている。

3. 目指す成果

事務局長

管と民、民間団体同士の連携体制が構築され、災害時においては被災地域や支援の全体像が把握され、 支援のコーディネーションが行われる環境が整備される。これにより、支援団体等による被災者支援活動が効果的に行われることを目指す。

「熊本地震・支援団体火の国会議」を毎夜開催

- ●JVOADが全国から支援のために熊本入りしたNPO/NGO等に対し呼びかけをし、連携・協働を行うため、「火の国会議(4月21日に名づけた会議名)」を4月19日より開始 (内閣府、熊本県も参加)
- ●以降、6月22日まで各団体の活動内容の報告だけでなく、相互に補完できる活動の調整を毎夜行った。
- ●NPOくまもとのミッションは、活動可能になった地元団体への参加呼びかけからスタートし、被災地支援経験団体との連携・協働を促した。



火の国会議の地元参加団体(発災から2ヶ月)

「熊	 本地震・3	支援	 曼団体火	 (の国会議」 熊本						
	月日	曜日	参加人数			初参加団体・組織名		•	参加数	累計
1	4月19日	火	20	NPOくまもと					1	1
2	4月20日	水	25	JC熊本ブロック					1	2
4	4月22日	金	35	熊本大学					1	3
5	4月23日	H	48	熊本市社協	きょうされん熊本支部	熊本女性支援者ネットワーク(はあもにい)			3	6
6	4月24日	П	52	熊本県社協	熊本支援チームめ組ジャパン(ちかけん)				2	8
8	4月26日	火	58	NPO法人日本防災士会·熊本県支部	スペシャルオリンピックス	ユニセフ熊本			3	11
9	4月27日	水	60	よか隊ねっと	熊本県司法書士会	手創り夢工房OWL(ふくろう)	熊本YMCA		4	15
10	4月28日	木	65	熊本市市民活動支援センターあいぽーと					1	16
12	4月30日	土	68	熊本YWCA	水と緑ワーキング	ヒューマンネットワークくまもと	ソナエトコ	くまもと障害者労働センター	5	21
13	5月1日	日	70	被災地障がい者支援センターくまもと	フードバンク熊本				2	23
14	5月2日	月	72	防災・ネットワーク フロム					1	24
16	5月4日	水	100	RQ九州					1	25
17	5月5日	木	43	Cスマイル	NPO法人れんげ国際ボランティア会	長薫寺	なないろネットワークくまもと		4	29
19	5月7日	土	45	オハイエくまもと	熊本県国際協会				2	31
20	5月8日	日	36	凸凹ライフデザイン					1	32
21	5月9日	月	25	Ibasho事業熊本本部					1	33
22	5月10日	火	25	KVC(熊本ボランティアコンシェルジュ)					1	34
23	5月11日	水	32	真如苑サーブ	九州環境サポートセンター				2	36
25	5月13日	金	35	つなぎひと(長洲)	NPO法人子育て応援団みるくらぶ				2	38
28	5月16日	月	25	神瀬ほいくえん					1	39
31	5月19日	木	24	一期会(行政書士、弁護士)	フォークダンス連盟				2	41
34	5月22日	日	27	熊本県行政書士会					1	42
36	5月24日	火	25	小町ウィング					1	43
38	5月26日	木	24	JICA熊本					1	44
41	5月29日	日	24	ACTくまもと					1	45
46	6月3日	金	27	法輪功くまもと					1	46
48	6月5日	日	10	環境ネットワーク熊本	NPO法人RYUSAN				2	48
49	6月6日	月	22	熊本YMCA	傾聴ネットキーステーション				2	50
50	6月7日	火	20	がんばるけん熊本機構	NPO法人教育支援プロジェクト・マスターズ熊本				2	52
52	6月9日	木	19	熊本県立大学					1	53
57	6月14日	火	24	尚絅大学	富士ゼロックス	コミュニケーションプロセスデザイン			3	56

連携ケース①特別養護老人ホームひろやす荘

ひろやす荘が抱えていた課題

(指定避難所ではないところへの支援がなかった)

- ・人的支援がない
- 支援物資もこちらから取りに行く状況
- ・本来業務と避難所運営の両立の難しさ



4月17日(日)

訪問ボランティアナースの会(キャンナス)の支援受入れ (施設の一部を団体の拠点として提供)

4月23日(土):施設駐車場での車中泊の要援護者を受入れ

8月12日(金):避難所閉鎖

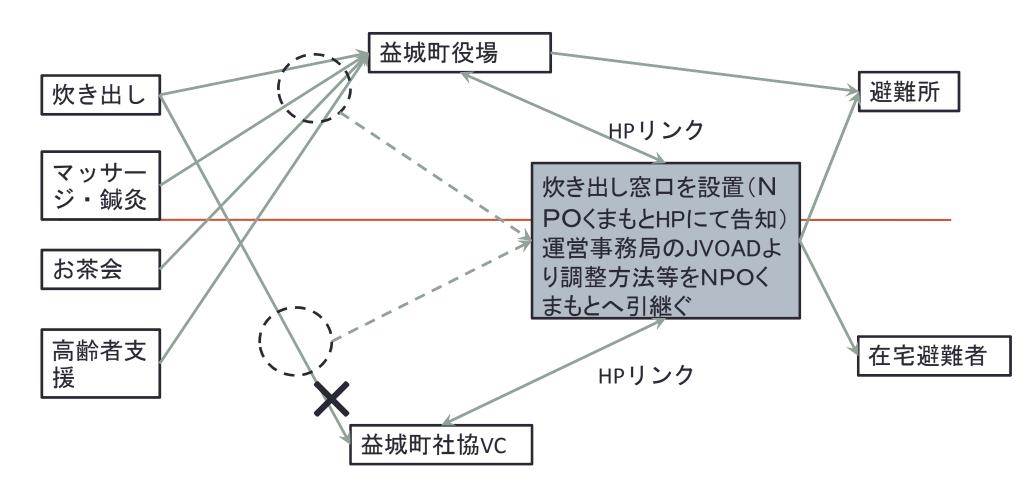
連携ケース②特定非営利活動法人ソナエトコ

避難所アセスメント(火の国会議参加NPO等が5月2日(月)~4日(水)に熊本県内の118箇所全ての避難所を対象としたアセスメント)を実施。

その結果を受け、火の国会議参加のNPOが連携し、避難所の生活環境の向上を図ったと同時に、地元団体へ支援(足湯)のノウハウを

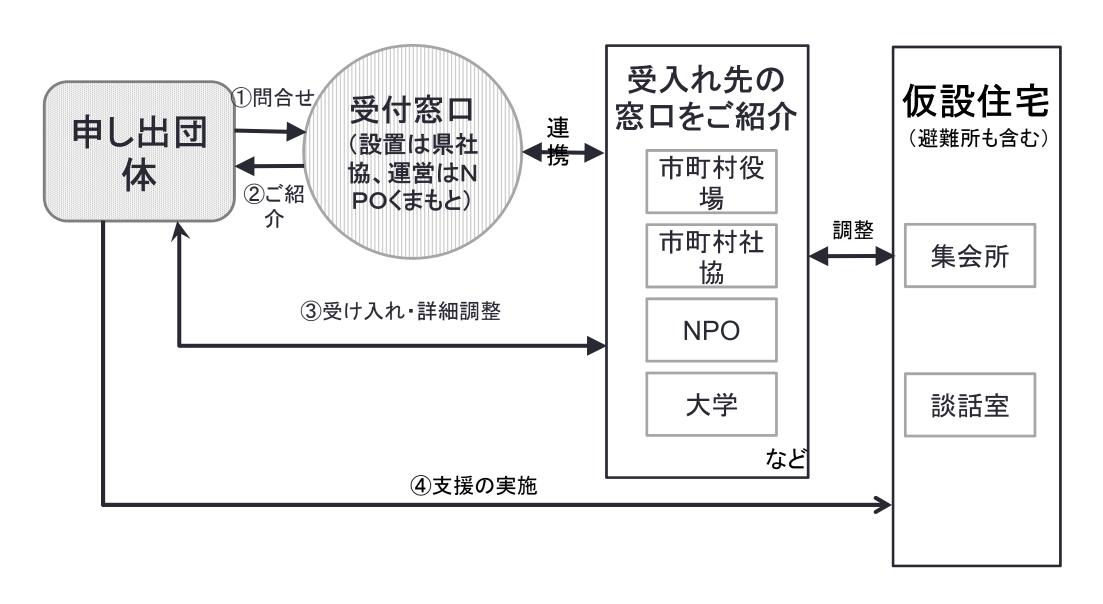


連携ケース③特定非営利活動法人NPOくまもと



益城町における支援申し出窓口の開設(2016/5/13~)

仮設住宅への支援団体調整窓口を協働運営

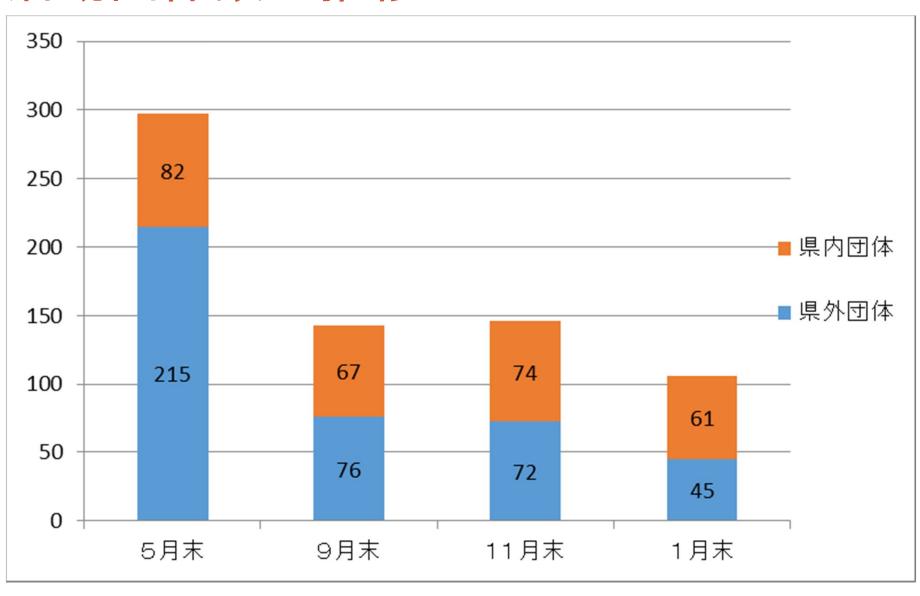


中間支援組織を介した地元団体の連携が必要と思ったきっかけ

- •GW(活動団体のピーク)
 - ⇒ 全国から来てもろうとるばってん、いつまで居てくださるとだろかぁ・・・・
- Y
- •6/16(函館地震: 震度6弱)
 - ⇒ よそで災害が発生すっと、みん~な、熊本から出て行かすとだろかぁ・・・・



活動団体数の推移(JVOAD、KVOAD調査)



くまもと災害ボランティア団体ネットワークの設立

7月23日 くまもと災害ボランティアネットワーク設立実行委員会 (熊本地震・支援団体火の国会議、ひごまる会議参加団体を基盤として構成)

8月~9月 準備会事務局による運営計画案、規約案等の策定

10月22日 設立総会

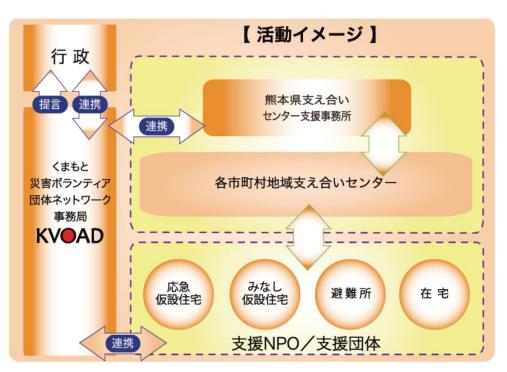
H29年4月 法人化(特定非営利活動法人認証予定)

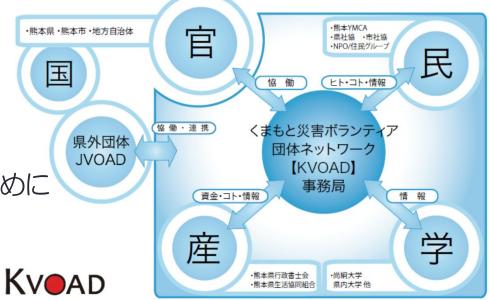
【構成団体・機関】

熊本県、熊本市、市民活動支援センター 尚絅大学、熊本県生活協同組合連合会 熊本県社会福協議会、熊本市社会福祉協議会 公益財団法人熊本YMCA、日本防災士会熊本県支部 熊本青年会議所、ほかNPO等16団体・・・・・現在増殖中

くまもと災害ボランティア団体ネットワーク【KVOAD】連携図

- 一過性のつながりで終わらせないために
- 被災地における長期的な支援対応のために
- 被災を経験したからこそできる支援対応のために





- ・被災者、住民、地域ニーズの全体像の把握
- ・支援活動のコーディネーション
- ・復旧、復興に向けた支援策の提言
- ・ネットワークの形成による連携強化と情報の共有
- ・ストックヤードの情報共有
- ・被災者支援および調整を行う人材育成

市町村の連携会議設置状況

2017.1末現在

		支え合いセンター内連絡会	支え合いセンター関係機関連携会議	NPO連携会議
1	くまもとし 熊本市	連絡会議	県市·県市社協、NPO連携会議	ひごまる会議
2	ぅ と し 宇土市			
3	ぅ き し 宇城市		宇城市連携会議	
4	ぁ そし 阿蘇市	相談員·補助員会議	地域支え合いセンター連携会議	阿蘇市災害ボランティア連絡会議
5	みさとまち 美里町		連携会議	
6	_{おおづまち} 大津町		連携会議	カセスル熊本「みんなで会議」
7	^{きくょうまち} 菊陽町	ケース会議		
8	^{みなあ} そむら 南阿蘇村		連携会議	
9	にしはらむら 西原村	連絡会議		西原村rebornネットワーク
10	^{みふねまち} 御船町	支え合いセンター会議	①個別ケース会議 ②支援担当者会議	
11	_{かしままち} 嘉 島町		嘉島町仮設等連携会議	
12	*Lきまち 益城町		連携会議	益城がんばるもん会議(MGM)
13	_{こうさまち} 甲佐町		仮設団地支援ネットワーク会議	
14	やまとちょう 山都町	連絡会議	町行政連携会議	
15	ひかわちょう 氷川町			
広域支援	支え合いセン ター支援事務所 JVOAD KVOAD	支え合いセンターミーティング	県·県社協·NPO連携会議	火の国会議
		主任生活支援相談員連絡会議	支援事務所連携会議	地域情報共有会議
		ブロック連絡会議	関係機関・団体連携会議	

今回の震災で私たちが得た支援のノウハウは熊本の財産となりました。

今後も続く支援活動を随時ふりかえり、課題も 検証しなければなりません。

また、「ネットワークの構築」の必要性を熊本から発信し、九州各県へさらには全国へと拡大することを願います。